

## X I が ん 対 策



## 1. はじめに

---

本県においては、「秋田県がん対策推進条例」が平成 23 年 3 月 8 日に公布され、平成 23 年 4 月 1 日から施行されている。

この報告書は、同条例第 9 条の規定に基づき、平成 25 年度にがん対策の推進に関し県が講じた施策について明らかにするため作成するものである。

### 【参考】秋田県がん対策推進条例（抜粋）

（年次報告）

第 9 条 知事は、毎年、がん対策の推進に関し県が講じた施策を明らかにする報告書を作成し、県議会に提出するとともに、これを公表するものとする。

## 2. これまでの経緯

---

がんは、本県において昭和 59 年以降連続して死因の第 1 位であり、平成 21 年からは年間 4,000 人を超える県民が亡くなっている。また、がんによる 10 万人当たりの死亡率（粗死亡率）は、平成 9 年以降全国で最も高い状態が続いている。

このような中、平成 19 年 4 月 1 日に施行された「がん対策基本法」及びそれに基づく「がん対策推進基本計画」の基本理念を踏まえ、本県では、平成 20 年 4 月にがん対策基本法第 11 条に規定される都道府県計画として「秋田県がん対策推進計画」がスタートし、行政、がん患者及びその家族を含めた県民、医療従事者、医療保険者、患者団体を含めた関係団体等が一体となって、がん予防の普及、がん検診受診率の向上、がん医療・相談支援体制の充実等、総合的かつ計画的ながん対策の推進を図ってきた。

平成 24 年度には、緩和ケアの充実やがん教育といった新たな課題等を踏まえた「第 2 期秋田県がん対策推進計画」を策定し、平成 25 年度から平成 29 年度までの 5 年間の計画期間として、引き続きがん対策の推進を図ることとしている。

### 【参考】

平成 19 年	4 月 1 日	がん対策基本法施行
	6 月 15 日	国のがん対策推進基本計画（～平成 24 年 5 月）
平成 20 年	4 月 1 日	秋田県がん対策推進計画（～平成 25 年 3 月）
平成 23 年	4 月 1 日	秋田県がん対策推進条例
平成 24 年	6 月	国の新たながん対策推進基本計画（～平成 29 年 3 月）
平成 25 年	4 月 1 日	第 2 期秋田県がん対策推進計画（～平成 30 年 3 月）

【参考】第2期秋田県がん対策推進計画（抜粋）

第5章 全体目標

1 がんによる死亡者の減少

目指すべき目標項目	基準値 (平成17年)	現状値 (平成23年)	目標値 (平成27年)
がんの年齢調整死亡率（75歳未満）	96.1	90.7	76.8

前計画に掲げた10年間の目標である「がんの年齢調整死亡率（75歳未満）20%減少」については、今後5年間で新たな分野別施策も含めて、より一層がん対策を充実させることにより、がんの年齢調整死亡率を減少させることを、引き続いて目標とします。

2 全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上

がん患者の多くは、身体的苦痛だけでなく、がんと診断された時から不安や抑うつ等の精神心理的苦痛を抱えています。さらに、がん患者とその家族は、療養生活の中で、安心・納得できるがん医療や支援を受けられないなど、様々な困難に直面していると言われています。

このため、がんと診断された時からの緩和ケアの実施はもとより、がん医療やがん患者支援の更なる充実等により、「全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上」を実現することを、引き続いて目標とします。

3 がんになっても安心して暮らせる地域社会の構築

がん患者とその家族は、社会とのつながりを失うことに対する不安や仕事と治療の両立が難しいなど社会的苦痛も抱えています。

がん患者とその家族の精神心理的・社会的苦痛を和らげるため、新たに「がんになっても安心して暮らせる地域社会の構築」を目標とします。

3. 平成25年度におけるがん対策の推進方針等

県のがん対策の推進に関する平成25年度の方針、体制等は次のとおりである。

(1) がん対策の推進に関する当該年度の方針

本県における死因の第1位を占めるがんの罹患率と死亡率の減少に向けて、秋田県がん対策推進計画に基づき、引き続き、がんの予防・検診の推進、医療連携体制の強化、医師等の人材育成、緩和ケアの充実に取り組むほか、新たながん教育モデル事業を実施するなど、総合的かつ計画的ながん対策の取組を強化する。

特に、がんによる死亡率を減少させるためには、予防対策とともにがんの早期発見・早期治療が重要である。このため、市町村や検診団体等と連携して未受診者に対する受診勧奨の強化に取り組むとともに、県民が幅広く参画する推進組織を強化し、県民運動としてがん検診受診の機運醸成を図るなど、がん検診の受診率向上に努める。

がん医療体制については、国が指定するがん診療連携拠点病院8病院と県が指定するがん診療連携推進病院3病院の機能強化を図り、県民に対し、より質の高いがん医療を提供できる体制の整備を図る。

## (2) がん対策の推進に関する体制

平成22年度に健康福祉部健康推進課内に設置した「がん対策推進チーム」を平成23年度より「がん対策室」に改組し、がん対策に継続的に取り組む組織体制へと強化を図っている。

### (ア) がん対策の推進に関する施策

平成25年度に県が実施した施策・事業は次のとおりである。

項目	事業名	平成	平成	平成	平成	平成
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
<b>1</b>	<b>がんの予防（がんにかかるリスクの軽減）</b>					
	① たばこ対策推進事業	○	○	○	○	○
	② 肝炎治療特別促進事業	○	○	○	○	○
	③ 子宮頸がん等予防接種促進事業	○	○	○	○	—
	④ 多目的コホート研究事業	—	—	○	○	○
	⑤ がん教育モデル事業	—	—	—	○	○
	⑥ 楽しく知ってがん予防事業	—	—	—	○	○
<b>2</b>	<b>早期発見（がん検診の受診率向上）</b>					
	① 子宮がん検診助成事業	○	○	○	○	○
	② 胃がん検診助成事業	—	—	○	○	○
	③ がん検診受診勧奨推進事業	—	○	○	○	○
	④ 県民こぞってがん検診運動推進事業	—	—	○	○	○
	⑤ がん検診受診促進助成事業	—	○	○	○	○
	⑥ がん検診受診促進企業連携事業	○	○	○	○	○
	⑦ がん検診推進事業	○	○	○	○	○
	⑧ 検診車等緊急整備促進事業※H24まで検診車・検診機器等整備事業	○	○	○	○	○
	⑨ 職域等がん検診受診実態調査事業	—	—	○	○	○
<b>3</b>	<b>がん医療の水準の向上（がん医療の均てん化）</b>					
	① がん対策推進計画進行管理事業	○	○	○	○	○
	② がん医療従事者育成支援事業	○	○	○	○	○
	③ がん診療機能等強化事業	○	○	○	○	○
	④ がん放射線治療機器等整備事業	—	○	○	○	○
	⑤ がん医療連携強化事業	—	—	—	○	○
<b>4</b>	<b>緩和ケアの充実・在宅医療等の推進</b>					
	① 緩和ケアに関する医療従事者研修事業	○	○	○	○	○
	② 在宅緩和ケア推進連絡協議会運営事業※H24まで同会設置事業	○	○	○	○	○
	③ 在宅緩和ケアに関する医療従事者研修事業	○	○	○	○	○
<b>5</b>	<b>がん患者等への支援</b>					
	① がん患者団体活動支援事業	○	○	○	○	○
	② 県民提案型がん対策推進事業	—	—	○	—	—
<b>6</b>	<b>がん登録の推進</b>					
	① 地域がん登録事業	○	○	○	○	○
	② がん治療に関する調査研究委託事業	○	○	○	○	○

## 4. 平成 25 年度にがん対策の推進に関し県が講じた施策

### (1) がんの予防（がんに罹るリスクの軽減）

#### ① たばこ対策推進事業

たばこには、発がん物質が多数含まれており、喫煙者自身はもちろん、受動喫煙によって周囲の人にも悪影響を与えることから、たばこの煙が健康に及ぼす影響について、十分な知識の普及を図る必要がある。

こうしたことから、平成 25 年 6 月 1 日（土）に「世界禁煙デー秋田フォーラム」を、平成 25 年 9 月 28 日（土）に「受動喫煙防止秋田フォーラム」を開催した。

また、WHO が定める「世界禁煙デー」（5 月 31 日）及び厚生労働省が定める「禁煙週間」（5 月 31 日～6 月 6 日）に合わせて、平成 25 年 5 月 31 日（金）に秋田駅で受動喫煙防止の街頭キャンペーンを行ったほか、テレビ広報番組でのスポット放映や、市町村や保健所、コンビニエンスストアへの啓発ポスター掲示等を行った。

秋田県の喫煙率は、平成 22 年国民生活基礎調査によると、特に男性では 37.4%と全国で 2 番目に高くなっており、引き続き、県民や事業所等に対して、たばこと健康に関する正しい知識の普及啓発に努めていく。

#### ② 肝炎治療特別促進事業

肝炎の多くは肝炎ウイルス感染に起因し、感染を放置していると肝硬変や肝がんといったより重篤な病態に進行することから、ウイルス性肝炎患者の減少を図るため、肝疾患診療体制や検査体制の整備、B 型・C 型ウイルス性肝炎の治療に要する医療費の助成、制度の普及啓発など、肝炎対策を総合的に実施した。

また、本県の実状に応じた肝炎対策を計画的かつ効果的に推進するため「肝炎対策基本法（平成 21 年 12 月法律第 97 号）」及び「肝炎対策の推進に関する基本的な指針（平成 23 年 5 月 16 日厚生労働省告示第 160 号）」の趣旨を踏まえ「秋田県肝炎対策推進計画」の策定を行い、平成 25 年 4 月から施行した。

ウイルス性肝炎の治療費助成については、平成 25 年度は、助成対象にシメプレビルを含む 3 剤併用療法が加えられ、新たに 251 人が制度を活用して治療を開始し、患者負担の軽減につながった。また、医療機関等における無料肝炎ウイルス検査を活用して、422 人が検査を受けた。

さらに、肝炎に関する正しい理解を促すため、平成 25 年 7 月の「秋田県肝炎ウイルス検査啓発強化月間」に合わせて、ポスター 1,200 枚、チラシ 12,200 枚を市町村や肝炎ウイルス検査医療機関、コンビニエンスストア等へ配布し、県民への広報を実施した。

国では、全ての国民が少なくとも 1 回は肝炎ウイルス検査を受けることを必要としており、今後も治療費助成や肝炎予防に関する啓発等に努め、引き続き、受検者の掘り起こしを行っていく。

### ③ 多目的コホート研究事業

多目的コホート<sup>(※1)</sup>研究とは、喫煙、飲酒、食事、運動習慣など様々な生活習慣と、がん・脳卒中・心筋梗塞などの病気との関係を明らかにし、健康施策へ反映させることを目的とした疫学研究である。国立がん研究センターが平成2年から全国11箇所で、計約14万人の一般住民を対象に実施しており、秋田県では横手地域（旧横手市、旧雄物川町）の約1万6千人の住民が対象となっている。

平成23年度のパイロット調査を経て、平成24年度には、戦後世代を対象とした「次世代多目的コホート研究」が開始され、今後20年間の追跡調査を予定している。横手地域（横手市全域）では、平成27年度までに約3万人の研究協力者を募ることとしており、平成25年度は特定健診の会場等で募集を行ったほか、新たに、同意した住民を対象に生活習慣に関するアンケートを実施し、これまで約8,000人の研究協力の同意を得ている。

今後も引き続き募集を行うほか、同意した住民を対象に生活習慣に関するアンケート等を実施していく。

※1：コホート

コホートとは、年齢や居住地など、ある一定の条件を満たす特定の集団を指す。

### ④ がん教育モデル事業

がんに関する正しい知識やがん予防につながる生活習慣を若いうちから身につけることで、予防意識の定着を図るとともに、親世代へ働きかけるきっかけづくりを図るため、専門家等によるがんについての特別授業を県内の17校（中学校13校、高校4校）において、1,924人の生徒を対象に実施した。

がん教育については、「第2期秋田県がん対策計画」の新たな施策分野と位置付けており、平成27年度までに57校での実施を目標として、引き続き取り組んでいく。

### ⑤ 楽しく知ってがん予防事業

広くがん予防に関する知識の普及を図るため、平成25年4月23日（火）に秋田公立美術大学でがん予防講演会を開催し、学生達にがんやがん予防に関する知識を持ってもらい、ポスターやコースターなどの啓発グッズのデザインを作成してもらった。啓発グッズが完成した際には、記者会見の場を設け、広く取り上げてもらったほか、ポスター600枚、ポケットティッシュ10,000個等を作成し、市町村や保健所へ配布した。

また、平成25年10月11日（金）～13日（日）には、秋田市でアフラックとの共催により「がんを知る展」を開催し、がんの予防・検診・医療に関する様々なパネル展示や、保健師による健康相談、美大生によるデザインの啓発グッズの展示を行い、約2,800人が来場した。

## (2) 早期発見（がん検診の受診率向上）

### ① 子宮がん検診助成事業

国の指針では、子宮がん検診の受診頻度を2年に1回としているが、県独自の措置として、20～39歳の若年者については年1回の受診ができるよう、市町村が毎年実施する場合に要する上乗せ経費に対する助成を行った。

事業を開始した平成18年度は未実施の自治体があったが、平成19年度以降は全市町村が実施しており、平成25年度には4,339人受診分（クーポン除く）に相当する助成を行った。

### ② 胃がん検診助成事業

本県は胃がんによる死亡率が高いことから、がんの早期発見・早期治療に向け、働き盛りの世代に焦点を当て、市町村が40歳及び50歳の全ての住民を対象に、「無料クーポン券」と「検診手帳」を送付し、胃がん検診受診を促すための経費を助成した。

全25市町村が事業を実施しており、利用状況は次のとおりである。

・胃がん（平成25年度）

（人）

対象年齢	40歳	50歳	合計
対象者	13,184	13,493	26,677
受診者	1,424	1,455	2,879
利用率	10.8%	10.8%	10.8%

平成25年度は2,879人が受診し、本事業実施前の平成22年度における40歳及び50歳の受診者1,022人と比べて、新たな受診者の掘り起こしに一定の効果がみられた一方で、無料クーポン券を受け取りながら利用しない対象者も多い。

今後は、利用動向を注視しながら、市町村に対し、未利用者への受診勧奨の一層の推進を促していく。

### ③ がん検診受診勧奨推進事業

がん検診に関する理解不足等により、受診をしない県民が少なくないことから、平成22年度から秋田県総合保健事業団内に「がん検診受診勧奨センター」を設置し、4名の受診勧奨員が、市町村から提供された未受診者名簿をもとに、モデル事業として電話等による個別受診勧奨（コール・リコール）を行った。

平成25年度は前年度実施した能代市、男鹿市、潟上市、仙北市、小坂町、八峰町、八郎潟町、大潟村のほか、新たに五城目町を加えた9市町村で行った。

その結果、大腸がん検診を対象とした3年目の男鹿市では、受診者が前年度の914人（前々年度は848人、事業実施前年度は687人）から1,040人に増加し、八郎潟町でも、前年度の557人から716人に増加した。また、胃がん検診を対象とした五城目町でも受診者が前年度の620人から705人に増加した。



これまでのモデル事業の結果、いずれの市町村も事業実施前よりも受診者数が増加しており、本県における事業効果が検証されたことから、平成 26 年度は全市町村においてコール・リコール事業を実施することとしており、県としても市町村の取組を支援していく。

#### ④ 県民こぞってがん検診運動推進事業

がん検診の受診率向上を高め、がんの早期発見・早期治療につなげるため、平成 25 年 6 月 4 日（火）に「秋田県がん検診推進協議会総会」を開催し、関係機関と連携のもと、各種取組を展開した。

##### （ア）タウンミーティング

平成 25 年 7 月から平成 25 年 9 月にかけて、県内 3 市においてタウンミーティングを開催し、「がん対策……がん検診の受診率を高めるために、私たちができることは何かしら」をテーマに講義やグループワークを行った。（参加者数：308 人）

開催日	開催地	参加人数
平成 25 年 7 月 31 日	大仙市	95 人
平成 25 年 9 月 24 日	潟上市	102 人
平成 25 年 9 月 29 日	男鹿市	111 人

##### （イ）がん検診推進県民大集会の開催

平成 25 年 10 月 26 日（日）に大館市において「がん検診推進フォーラム 秋田県北大会」を開催し、「女性のがん 早期発見の重要性」をテーマに 2 名の医師、女優の原千晶さんを講師に迎え、講演を行った。（参加者数：285 名）

##### （ウ）PR キャンペーン

平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月にかけて、県内各地域のイベント等に参加して、がん検診受診の PR キャンペーンを延べ 179 日実施した。（啓発人数：55,963 人）

##### （エ）ミニがん講座

平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月にかけて、がん検診に関する正しい知識と理解を深めてもらうため、がん検診推進員が地域や職場に出向いて、ミニがん講座を 256 回開催した。（受講者：6,943 人）

受講者には受講証と「がん検診受診推進応援団証」を配布し、地域や職場で、がん検診受診の呼びかけを行ってもらえるよう動機付けを図った。

#### ⑤ がん検診受診促進助成事業

がん検診の受診機会拡大による受診率向上を図るため、検診団体に対し、土曜日、日曜日及び祝日に実施するがん検診（休日検診）の経費の一部を助成した。

休日検診の実施日数は延べ 65 日で、受診者数は延べ 9,272 人となり、住民の受診機会拡大と利便性向上が図られた。

休日検診に対する県民の要望は大きいものの、検診の種類によっては、医師不足等により拡充が難しい状況にある。引き続き、検診団体と協議しながら事業の推進を図っていく。

⑥ がん検診受診促進企業連携事業

がん検診の受診率向上に向けて、県では13企業（のちに1企業追加）と「秋田県がん検診推進に関する協定書」（平成25年6月4日～平成26年3月31日※申し出がない場合、さらに1年間有効）を交わし、事業所窓口等での啓発用リーフレット配布やがん検診の受診勧奨等の取組の推進を図ってきた。

また、連携企業のうち、個別の企業と共催事業として、啓発イベントやフォーラムを開催した。

⑦ がん検診推進事業

がんの早期発見と健康意識の普及啓発を図るため、市町村が特定の年齢に達した対象者に対して、子宮頸がん、乳がん及び大腸がんに関する「無料クーポン券」と「検診手帳」を送付する取組の促進を図った。

全25市町村が事業を実施しており、本県の利用状況は次のとおりである。

・子宮頸がん（平成25年度） (人)

対象年齢	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	合計
対象者	4,189	4,215	5,148	5,916	6,518	25,986
受診者	456	942	1,359	1,811	1,861	6,429
利用率	10.9%	22.3%	26.4%	30.6%	28.6%	24.7%

・乳がん（平成25年度） (人)

対象年齢	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	合計
対象者	6,518	6,584	6,930	7,852	9,340	37,224
受診者	1,725	1,620	1,655	2,080	2,348	9,428
利用率	26.5%	24.6%	23.9%	26.5%	25.1%	25.3%

・大腸がん（平成25年度） (人)

対象年齢	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	合計	
対象者	13,191	12,870	13,500	15,416	18,344	73,321	
	男	6,669	6,286	6,571	7,564	9,030	36,120
	女	6,522	6,584	6,929	7,852	9,314	37,201
受診者	1,637	1,454	1,861	2,391	3,904	11,247	
	男	453	448	540	794	1,433	3,668
	女	1,184	1,006	1,321	1,597	2,471	7,579
利用率	12.4%	11.3%	13.8%	15.5%	21.3%	15.3%	
	男	6.8%	7.1%	8.2%	10.5%	15.9%	10.2%
	女	18.2%	15.3%	19.1%	20.3%	26.5%	20.4%

子宮頸がん及び乳がんについては、事業開始から5年目となり、新たな受診者の掘り起こしに一定の成果がみられる一方で、無料クーポン券を受け取りながら利用しない対象者も多く、利用率には伸びが見られなくなっている。

大腸がんについては、他の2つに比べて利用率が低く、特に男性の利用率が低い。今後は、その利用動向を注視しながら、市町村に対し、未利用者への受診勧奨の一層の推進を促していく。

### ⑧ 検診車等緊急整備促進事業

県内において広域的に集団検診を実施している秋田県総合保健事業団、秋田県厚生農業協同組合連合会の2団体に対し、検診車や検診機器の無償貸与等を行っており、平成25年度は、胸部検診車1台を購入し、秋田県総合保健事業団へ無償貸与した。また、胃胸部検診車を購入した秋田県厚生農業協同組合連合会に対し助成を行った。

県が保有するがん検診車の半数以上が10年以上経過して老朽化が進んでいることから、効果的で効率的な検診が図られるよう計画的な整備・更新を行っていく。

### ⑨ 職域等がん検診受診実態調査事業

これまで把握されていなかった職場や個人で行うがん検診の受診者等の実態を把握するため、県医師会の協力で、がん検診を実施している県内医療機関・検診機関へ調査を行った。

実施にあたっては、5つのがん（胃、肺、大腸、子宮、乳房）について毎月、部位、検査方法、男女、年齢ごとにがん検診の実施件数の報告を受ける方法により、データ収集等を行った。

・平成25年度のがん検診受診状況（速報値） (人)

		胃	肺	大腸	子宮	乳房
受診者	病院	87,937	48,093	96,359	29,164	29,750
	診療所	4,114	4,916	12,477	17,210	2,100
	検診団体	61,345	81,259	67,165	12,648	14,207
	計	153,396	134,268	176,001	59,022	46,057

### (3) がん医療の水準の向上（がん医療の均てん化）

#### ① がん対策推進計画進行管理事業

平成 26 年 3 月 17 日(月)に秋田県がん対策推進委員会を開催し、「第 2 期秋田県がん対策推進計画」における数値目標の達成状況についての報告を行い、意見を伺った。また、国のがん診療拠点病院制度が見直されたことから、指定要件の主な変更点について説明のうえ、今後のがん医療提供体制の構築に向けた検討においての留意点などについて意見をいただいた。

今後も、県、市町村、がん患者や家族を含む県民、医療機関、関係団体、企業等がそれぞれの立場でがん対策への役割を果たすとともに、相互の連携を図り一体となって推進し、目標達成のための進行管理を行っていく。また、26 年度のがん拠点病院の指定更新を見据え、新たな指定要件に対応した本県のがん医療提供体制について検討を進める。

#### ② がん医療従事者育成支援事業

がん関連の認定看護師およびがん看護専門看護師の資格取得を促進するため、病院からの奨励金の支給や、研修期間中の代替職員の雇用等の経費に対して助成している。

平成 25 年度は、4 病院(4 名)に対して助成し、県内のがん関連の認定看護師数は 47 人となり、本事業が開始された平成 20 年度の 11 人から大きく増えた。また、がん看護専門看護師が 1 名誕生した。

平成 26 年度からは放射線治療専門放射線技師やがん専門薬剤師など、助成対象となる資格を拡充し、全国平均に比べて不足している医療従事者の育成を促進し、がん医療の質の向上を支援していく。

・ 専門看護師及び認定看護師の状況（平成 25 年度末）

	人数		人口 100 万対	
	秋田県	全国	秋田県	全国
専門看護師（がん看護）	1 人	514 人	0.9	4.0
認定看護師（がん関連分野）	47 人	5,600 人	45.1	44.0

#### ③ がん診療機能等強化事業

県内のがん診療機能等を強化するため、国指定の地域がん診療連携拠点病院(7 病院)、県指定のがん診療連携推進病院(3 病院)に対し、緩和ケア等の医療従事者研修、院内がん登録の実施、相談支援センターの運営、普及啓発・情報提供等に要する経費を助成し、県内のがん医療の提供体制の充実を図った。

また、秋田県がん診療連携協議会<sup>(※2)</sup>において、県内統一様式による地域連携クリティカルパス<sup>(※3)</sup>が作成され、地域における運用体制が整備されている。

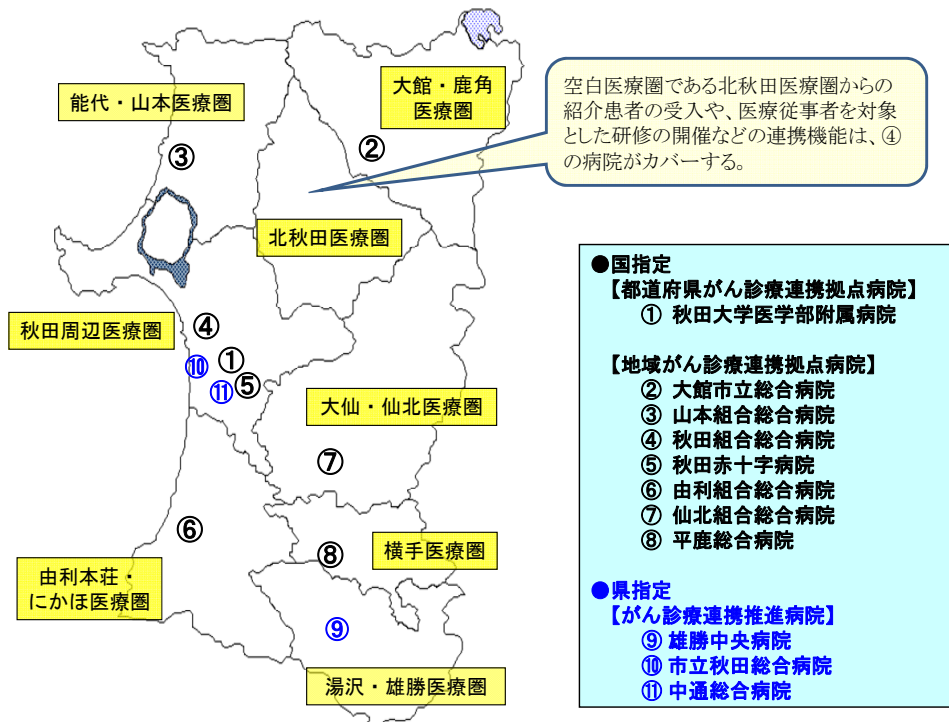
※2：秋田県がん診療連携協議会

都道府県がん診療連携拠点病院である秋田大学医学部附属病院が設置・運営し、県内のがん拠点病院、県医師会、県を構成員とし、がん対策や診療連携体制の整備、院内がん登録の推進、医療スタッフの教育研修などの課題を協議している。

※3：地域連携クリティカルパス

急性期病院から回復期病院を経て自宅に戻るまでの治療計画。患者や関係する医療機関で共有することにより、効率的で質の高い医療の提供と患者の安心につながる。

がん診療連携拠点病院等の整備状況



・医療従事者研修（緩和ケア研修会）の修了者数 (人)

	医師	看護師	薬剤師	その他	計
平成20年度	58	67	29	2	156
平成21年度	149	151	22	10	332
平成22年度	139	148	25	7	319
平成23年度	84	130	15	13	242
平成24年度	102	103	9	16	230
平成25年度	78	95	22	23	218
合計	610	694	122	71	1,497

平成26年1月に国が定めるがん診療連携拠点病院の整備指針の見直しが図られ、人材配置要件や診療実績要件が強化されたことから、新たな指定要件に対応したがん医療

提供体制について検討を進めていく。

#### ④ がん放射線治療機器等整備事業

質の高いがん医療提供体制を確立するため、秋田組合総合病院の放射線治療機器（リニアック）整備に要する経費を助成した。

秋田組合総合病院のリニアックは、最新の機器へ更新され、治療の質が向上するとともに、患者の負担も大きく軽減されることとなった。

#### ⑤ がん治療に関する調査研究委託事業

県内のがん診療連携拠点病院等から収集した院内がん登録のデータを分析し、がん治療等に関する提言等のとりまとめを、秋田大学医学部附属病院へ委託している。

平成24年11月には、平成28年3月まで、委託契約を3年5ヶ月延長し、引き続き、秋田大学医学部附属病院において、秋田県で診断・治療されるがんの種類、がん発見の経緯、進行度及びその治療内容等を把握し、本県のがん対策に役立てていくこととしている。

### (4) 緩和ケアの充実・在宅医療等の推進

#### ① 緩和ケアに関する医療従事者研修事業

緩和ケアに携わる医療従事者を対象とし、緩和ケア病棟、緩和ケアチーム、訪問診療等における実践的な研修を実施している。

平成25年度は、秋田大学医学部附属病院、秋田赤十字病院、外旭川病院、秋田往診クリニック、訪問看護ステーションあきた、仙北組合総合病院、中通総合病院の7施設において研修の受け入れを行い、27名の医療従事者が研修を修了した。

この事業の実施により、緩和ケアの実践的な研修が実施でき、緩和ケアに携わる人材の育成が図られたが、県内における緩和ケアの普及はまだ十分ではないことから、引き続き、当研修を実施する。

#### ② 在宅緩和ケアに関する医療従事者研修事業

在宅での緩和ケアの推進を図るため、秋田県医師会に委託し、各地域において、在宅緩和ケアに携わる医師、看護師、薬剤師等に対し、専門的な研修会や講習会を開催した。

県内4地域での開催実績は次のとおりである。

期日	地区	参加人数
平成26年 1月31日	能代山本地区	65人
平成26年 3月 6日	横手地区	150人
平成26年 3月11日	大館北秋田地区	100人
平成26年 3月24日	由利本荘地区	51人

このように、多数の医療従事者の参加を得て、研修会、講演会が開催され、在宅緩和ケアについての理解が図られることとなったが、更に実践的な研修の開催についても検討する。なお、在宅緩和ケアの推進体制はまだ十分ではないため、平成 26 年度も各郡市医師会の協力を得ながら、当研修を実施する。

## (5) がん患者等への支援

### ① がん患者団体活動支援事業

がん患者の悩みや不安の軽減を図るため、「秋田県がん患者団体連絡協議会 きぼうの虹」が実施する、がんサロン活動、ピアサポート<sup>(※4)</sup> 研修会開催、普及啓発等の事業に要する経費に対する助成を行った。

がんサロンについては、秋田市、大館市、大仙市に加え、湯沢市でも定期的に開催されるなど、がん患者活動の広がりが見られた。

ピアサポートについては、がん患者やその家族、がん患者への相談支援活動に携わっている者を対象とした研修会を、横手市と由利本荘市で2回開催し、がん患者の相談に携わる者のスキルアップが図られた。

普及啓発活動については、患者団体、医療関係者、行政、マスコミ、学生、企業等が一体となって行う「あきた がん ささえ愛の日」が秋田市、能代市、横手市の3ヶ所で平成 25 年 6 月 9 日(日)～29 日(土)に開催され、県民への普及啓発が図られるとともに、関係者間の連携強化が図られた。また、がん患者や家族をサポートするため、がんに関するさまざまな情報を掲載した冊子を作成・配布した。

活動の広がりは見られるものの、患者団体の基盤は、資金面、マンパワーの面でも脆弱であることから、引き続き、がん患者団体の活動に対して支援していく。

※4：ピアサポート

同じような環境や悩みを経験した人同士が、対等な立場で同じ仲間として、お互いの信頼のもとに支援し合うこと。

## (6) がん登録の推進

### ① 地域がん登録事業

秋田県総合保健事業団に事業委託し、医療機関の協力を得て、県民のがんの罹患に関する情報を収集した。2012 年分として、新たに罹患者 9,352 人のデータを登録し、罹患率、発見の経緯、治療方法等のデータを公表した。

## (7) がん対策に関する情報の提供等・県民の理解及び関心の増進

### ① フォーラム・キャンペーン等の実施

- (ア) たばこの煙が健康に及ぼす影響について県民に情報提供するため、平成 25 年 6 月 1 日（土）に「世界禁煙デー秋田フォーラム」を、世界禁煙デーの 5 月 31 日（金）には、秋田駅で街頭キャンペーンを行った。（再掲）
- (イ) 受動喫煙対策についての正しい知識を啓発するため、平成 25 年 9 月 28 日（土）に「受動喫煙防止 秋田フォーラム」を開催した。（再掲）
- (ウ) 秋田公立美術大学の学生に、がんやがん予防に関する啓発グッズのデザインを作成してもらうため、学生達に平成 25 年 4 月 23 日（火）にがん予防講習会を開催した。（再掲）
- (エ) アフラックとの共催で、平成 25 年 10 月 11 日（金）～13 日（日）に秋田市で「がんを知る展」を開催した。（再掲）
- (オ) 秋田朝日放送との共催で、平成 25 年 10 月 26 日（土）に大館市で「がん検診推進フォーラム秋田県北大会」を開催した。（再掲）

### ② その他の情報提供等

- (ア) 肝炎に関する正しい理解を促すため、平成 25 年 7 月の秋田県肝炎ウイルス検査啓発強化月間に合わせて、ポスター1,200 枚、チラシ 12,200 枚を配布し、県民への広報を実施した。（再掲）
- (イ) がん検診の受診率向上に向けて、連携協定を結んでいる 14 企業の窓口等で啓発用コースター11,000 枚の配布やがん検診の受診勧奨等の取組の推進を図った。（再掲）
- (ウ) 市町村が、特定の年齢に達した対象者に対して、子宮頸がん、乳がん、大腸がん及び胃がんに関する「無料クーポン券」と「検診手帳」を送付する取組の促進を図った。（再掲）
- (エ) 県内のがん診療機能等を強化するため、地域がん診療連携拠点病院、県がん診療連携推進病院に対し、がん医療、緩和ケア等に関する情報が適切に提供されるよう、相談支援センターの運営に要する経費を助成した。（再掲）
- (オ) 患者団体が主催するイベント「あきた がん ささえ愛の日」の開催、がん患者やその家族、がん患者への相談支援活動に携わっている者を対象としたピアサポート研修会の開催、がん患者や家族をサポートするためのがんに関するさまざまな情報を掲載した冊子の作成等に対する経費を助成した。（再掲）

### ③ 後援事業

#### (ア) 母の日キャンペーン・マンモグラフィ無料検診

開催日：平成 25 年 5 月 12 日（日）

開催場所：秋田市

実施主体：あけぼの秋田



(イ) あきた がん ささえ愛の日

開催日：平成25年6月9日（日）～平成25年6月29日（土）

開催場所：秋田市、横手市、能代市等

実施主体：「あきた がん ささえ愛の日」実行委員会

(ウ) 秋田魁新報社健康フォーラム（ピロリ菌から胃の健康を守る）

開催日：平成25年6月15日（土）

開催場所：秋田市

実施主体：秋田魁新報社

(エ) 2013年度AABがん検診促進キャンペーン

開催期間：平成25年6月25日（火）～平成26年3月31日（月）

開催場所：年間を通じた啓発への後援（フォーラム、テレビでの啓発）

実施主体：秋田朝日放送

(オ) 市民講座「肝がんの予防と治療」

開催日：平成25年6月29日（土）

開催場所：鹿角市

実施主体：日本肝臓学会

(カ) 市民講座「肝がんの予防と治療」

開催日：平成25年7月13日（土）

開催場所：秋田市

実施主体：日本肝臓学会

(キ) Over Cancer Together in AKITA

開催日：平成25年8月4日（日）

開催場所：秋田市

実施主体：ジャパンフォーリーブストロング秋田

(ク) 第54回がん征圧月間運動

開催日：平成25年9月1日（日）～30日（月）

開催場所：秋田県内

実施主体：日本対がん協会秋田県支部

(ケ) ピンクリボンキャンペーン in AKITA 2013

開催日：平成25年9月29日（日）

開催場所：秋田市

実施主体：秋田県ピンクリボン実行委員会

(コ) 第4回大仙仙北地域・緩和ケア市民公開講座

開催日：平成25年9月29日（日）

開催場所：大仙市

実施主体：仙北組合総合病院

(サ) がんを知る展 (共催)

開催日：平成 25 年 10 月 11 日 (金) ～13 日 (日)

開催場所：秋田市

実施主体：アフラック、秋田県

(シ) がん検診推進フォーラム秋田県北大会 (共催)

開催日：平成 25 年 10 月 26 日 (土)

開催場所：大館市

実施主体：秋田朝日放送、秋田県

(ス) 秋田赤十字病院市民公開講座 ーがん治療の最前線 6ー

開催日：平成 25 年 11 月 9 日

開催場所：秋田市

実施主体：秋田赤十字病院

(セ) 緩和ケア市民公開講座

開催日：平成 25 年 12 月 7 日 (土)

開催場所：能代市

実施主体：山本組合総合病院

(8) その他
---------

① 秋田県健康づくり審議会専門部会の開催

(ア) 感染症対策分科会肝疾患対策部会

開催日：平成 25 年 12 月 13 日 (金)

内容：シメプレビルを含む 3 剤併用療法への医療費助成について  
緊急肝炎ウイルス検査について

(イ) 成人保健分科会消化器がん部会

開催日：平成 26 年 3 月 10 日 (月)

内容：検診実施状況について  
検診要領改正・精度管理について

(ウ) 成人保健分科会乳がん部会

開催日：平成 26 年 3 月 19 日 (水)

内容：検診実施状況について  
検診要領改正・精度管理について

(エ) 成人保健分科会肺がん等部会

開催日：平成 26 年 3 月 24 日 (月)

内容：検診実施状況について  
検診要領改正・精度管理について

**(オ) 成人保健分科会子宮がん部会**

開催日：平成 26 年 3 月 31 日（月）

内 容：検診実施状況について  
検診要領改正・精度管理について

**② 関係会議の開催**

**(ア) 保健所肝炎対策担当者会議**

開催日：平成 25 年 4 月 26 日（金）

内 容：肝炎治療特別促進事業について  
緊急肝炎ウイルス検査について

**(イ) 秋田県がん検診推進協議会総会**

開催日：平成 25 年 6 月 4 日（火）

内 容：検診受診率向上について各団体と協議  
記念講演「がんのひみつ」東大附属病院 准教授 中川恵一 氏  
秋田駅で街頭キャンペーン

**(ウ) 秋田県地域がん登録委員会**

開催日：平成 25 年 12 月 19 日（木）

内 容：がん登録の法制化について  
平成 24 年分報告のスケジュールについて  
生存率の公表について

**(エ) がん検診受診促進企業連携事業担当者会議**

開催日：平成 26 年 3 月 12 日（水）

内 容：活動実績報告等について

**(オ) 秋田県がん対策推進委員会**

開催日：平成 26 年 3 月 17 日（月）

内 容：第 2 期秋田県がん対策推進計画の目標達成状況について  
がん診療連携拠点病院制度の見直しについて

**(カ) がん診療機能強化検討会**

開催日：平成 26 年 3 月 20 日（木）

内 容：がん診療連携拠点病院制度の見直しについて

## 5. 計画に掲げる目標の達成状況

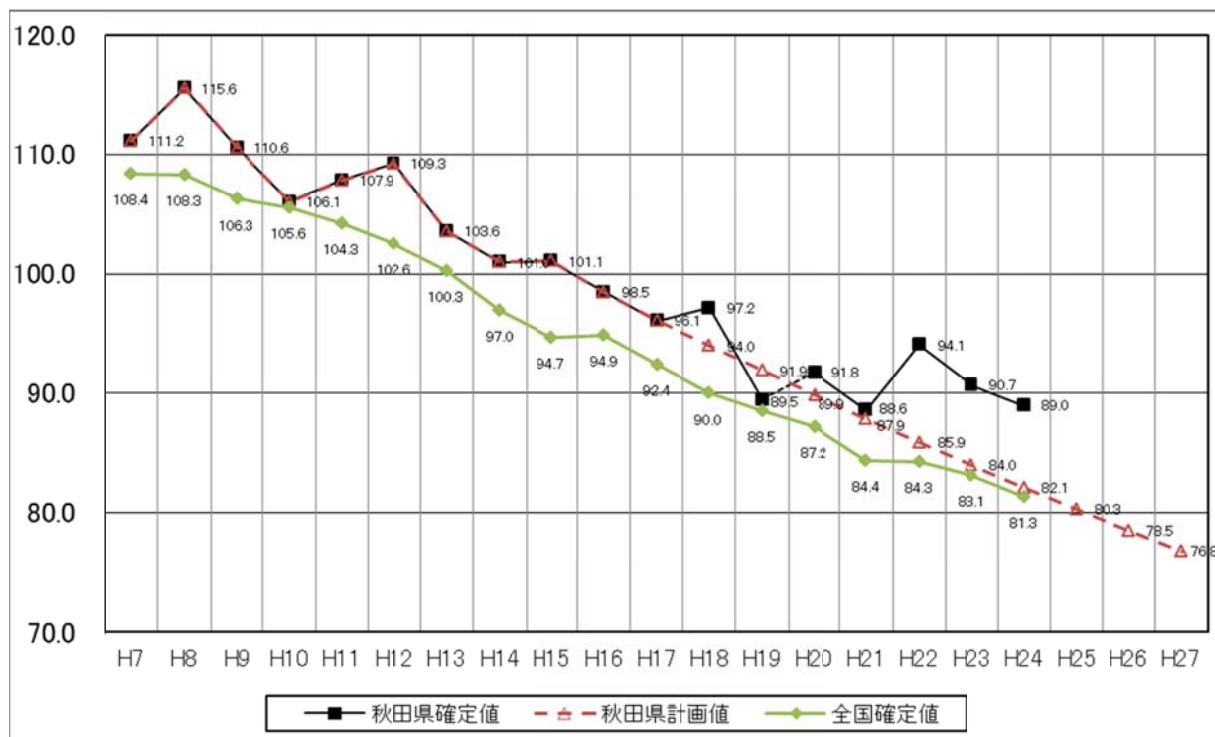
### (1) がんによる死亡

秋田県がん対策推進計画において、目指すべき目標としている 75 歳未満年齢調整死亡率は、平成 17 年以降減少傾向にあったが、平成 24 年は 89.0 で、計画値 82.1 を上回り、全国の都道府県の中で 3 番目に高い値となった。

なお、平成 26 年 6 月 4 日に厚生労働省が公表した人口動態統計月報年計（概数）では、平成 25 年のがんによる粗死亡率は人口 10 万人対 392.8（平成 24 年は 386.7）で、死亡数は 4,113 人（4,099 人）と、昨年より 14 人の増加となっており、死亡率は、平成 9 年から 17 年連続全国 1 位となっている。

#### ・計画に掲げる目標数値と達成状況

全体 目標	【がんによる死亡率の減少】 75 歳未満年齢調整死亡率の 20%減少（人口 10 万対）	基準値 （平成 17 年）	現状値 （平成 24 年）	目標値 （平成 27 年）
			96.1	89.0



### (2) がん検診の受診率

がんの早期発見・早期治療につながり、がん死亡率の減少に大きく寄与するがん検診について、目標としている受診率 50%には及ばない状況であることから、受診率向上に向けて、更なる取組を推進していく。

・市町村が実施するがん検診の受診率

	計画策定時 (平成 17 年度)	現状※ (平成 24 年度)	全国平均 (平成 24 年度)	全国順位
胃がん検診	21.1%	14.4%	9.0%	11
大腸がん検診	30.3%	25.7%	18.7%	6
肺がん検診	33.6%	22.5%	17.3%	20
子宮がん検診	25.2%	22.1%	23.5%	32
乳がん検診	31.2%	22.5%	17.4%	15

※受診率の算出方法については、平成 23 年度から全各市町村で統一した。(出典：地域保健・健康増進事業報告)

(3) すべてのがん患者等の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上

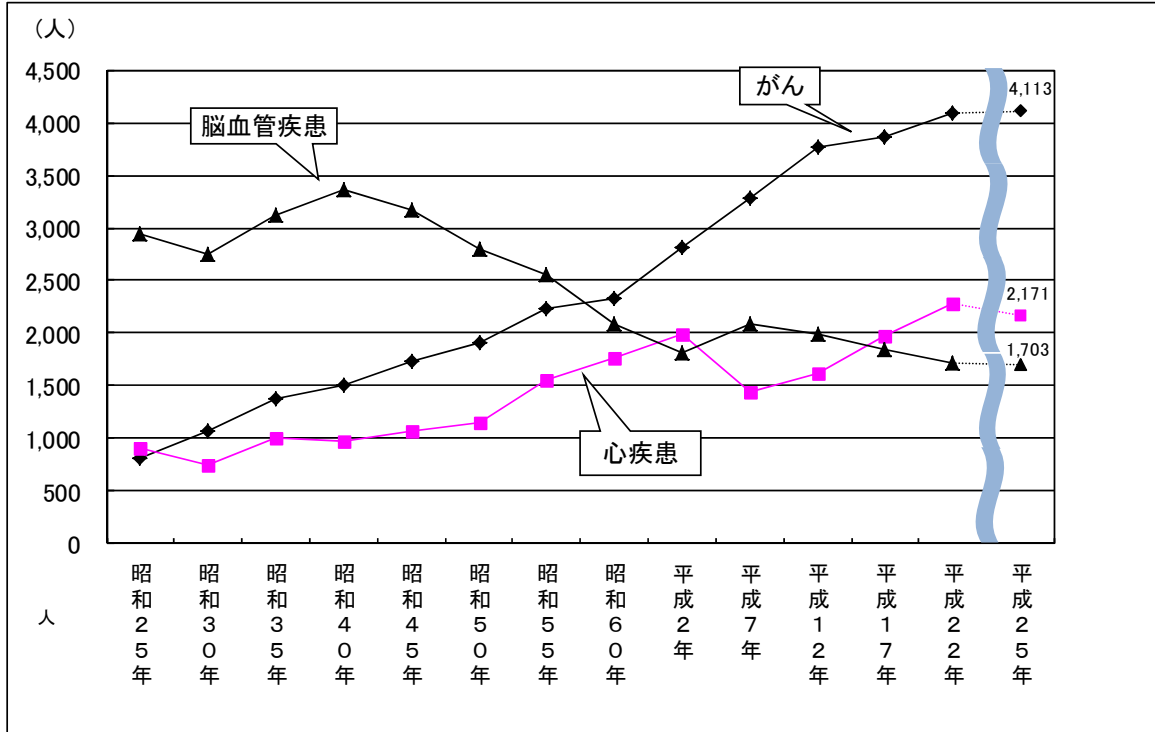
全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減や療養生活の質向上に向けて、県内すべてのがん診療連携拠点病院及びがん診療連携推進病院に緩和ケアチームが設置され、治療の初期段階から緩和ケアが受けられる体制が構築された。また、がん相談支援センターが設置され、がん患者への相談支援機能が強化されている。

緩和ケア病棟については、これまで外旭川病院（秋田市・34 床）の 1 施設しかなかったが、平成 26 年 5 月 1 日に仙北組合総合病院から新築移転した大曲厚生医療センターに、新たに病床数 19 床の緩和ケア病棟が整備された。

しかしながら、緩和ケアについての理解がまだ十分に浸透していないことから、引き続き、普及啓発を図るとともに、質の高い緩和ケアの実施に対して支援していく。

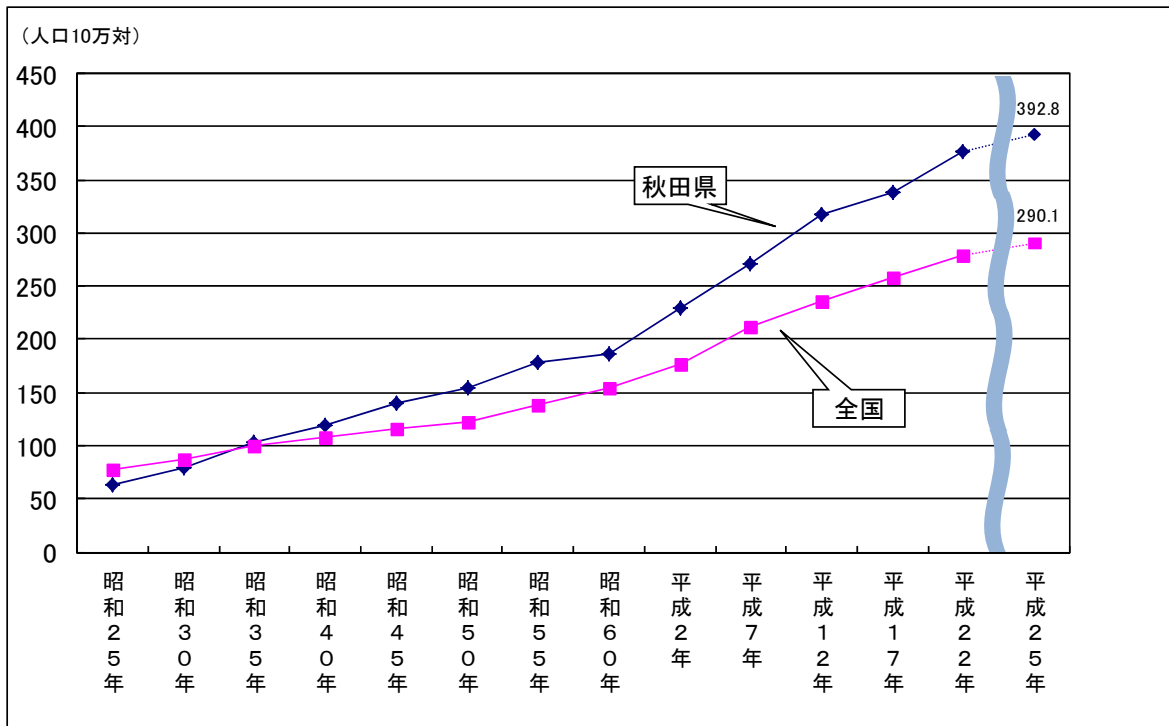
# 資料編

## 三大死因による死亡数の推移(秋田県)



(出典:人口動態統計)

## がん死亡率の推移



(出典:人口動態統計)

平成24年 年齢別・部位別のがん死亡数（秋田県）

（単位：人）

区分	0～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
胃	-	3	10	37	132	181	346	709
直腸	-	1	3	16	32	44	73	169
肝	-	-	-	14	36	76	82	208
胆のう	-	1	-	6	25	85	152	269
膵	-	3	4	32	59	112	140	350
気管及び肺	-	3	4	30	148	217	309	711
子宮	-	2	2	12	10	20	20	66
食道	-	1	2	8	33	57	58	159
乳房	1	2	14	21	27	21	24	110
前立腺	-	-	-	4	13	36	73	126
白血病	3	3	2	4	9	28	27	76
結腸	-	2	3	21	63	111	201	401
その他	3	3	16	49	123	184	367	745
合計	7	24	60	254	710	1,172	1,872	4,099
大腸（再掲）	-	3	6	37	95	155	274	570

（出典：平成24年人口動態統計）



## がんの部位別粗死亡率（秋田県）

部位	平成20年			平成21年			平成22年			平成23年			平成24年		
	実数	率	順位	実数	率	順位	実数	率	順位	実数	率	順位	実数	率	順位
全部位	3,929	355.6	1	4,008	366.7	1	4,085	377.3	1	4,044	377.3	1	4,099	386.7	1
胃	746	67.5	1	688	62.9	1	749	69.2	1	701	69.2	1	709	66.9	1
直腸	159	14.4	5	201	18.4	1	204	18.8	1	195	18.8	1	169	15.9	4
肝	226	20.5	43	253	23.1	33	241	22.3	36	220	22.3	36	208	19.8	40
胆のう	254	23.0	1	264	24.2	1	254	23.5	1	270	23.5	1	269	25.4	1
膵	309	28.0	4	345	31.6	1	312	28.8	7	319	28.8	7	350	33.0	1
気管及び肺	647	58.6	19	678	62.0	8	695	64.2	9	657	64.2	9	711	67.1	6
子宮	51	8.7	25	56	9.7	12	46	8.0	41	47	8.0	41	66	11.7	4
食道	180	16.3	1	170	15.6	1	189	17.5	1	191	17.5	1	159	15.0	1
乳房	108	18.5	19	110	19.0	19	137	23.9	1	109	23.9	1	110	19.6	19
前立腺	124	23.8	4	101	19.6	12	129	25.3	3	124	24.6	5	126	25.3	7
白血病	83	7.5	9	69	6.3	21	66	6.1	27	76	6.1	27	75	7.1	16
結腸	375	33.9	1	361	33.0	1	356	32.9	2	427	32.9	2	401	37.8	1
その他	791	—	—	813	—	—	836	—	—	836	—	—	745	—	—
大腸(再掲)	534	48.3	3	562	51.4	1	560	51.7	1	622	51.7	1	570	53.8	1

(出典:人口動態統計)

## がんの部位別75歳未満年齢調整死亡率(秋田県)

部位	平成20年	順位	平成21年	順位	平成22年	順位	平成23年	順位	平成24年	順位
全部位	91.8	8	88.6	10	94.1	3	90.7	7	89.0	3
胃	15.8	2	15.7	1	16.2	1	15.1	1	14.5	1
直腸	5.0	4	5.2	2	5.8	1	5.5	3	4.0	29
肝	6.0	46	5.7	43	6.4	40	4.8	45	4.3	47
胆のう	3.7	7	3.4	8	3.3	10	3.3	9	3.6	3
膵	7.2	11	7.0	15	6.7	28	7.3	10	8.6	3
気管及び肺	14.3	31	13.0	41	14.9	20	13.0	41	14.5	20
子宮	3.3	42	4.8	8	3.7	39	4.7	23	4.5	25
食道	5.0	2	4.7	1	4.8	2	5.4	1	3.8	8
乳房	10.6	17	10.8	16	11.8	10	10.6	20	11.5	4
前立腺	3.4	1	1.5	46	3.2	3	3.0	8	2.9	5
白血病	2.7	13	2.3	29	2.2	34	2.4	23	2.3	22
結腸	7.4	2	7.6	1	6.3	20	7.8	4	7.3	7
大腸(再掲)	12.3	2	12.7	2	12.1	3	13.3	3	11.3	7

(出典:国立がん研究センターがん対策情報センター)

注1 死亡率は、人口10万対

注2 子宮、乳房は女性人口10万対の死亡率

注3 「大腸(再掲)」は「結腸」と「直腸」の合計の再掲

注4 「順位」は死亡率が高い方からの全国都道府県別の順位



## 市町村が実施するがん検診受診率

(単位:%)

区 分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
胃がん検診	秋田県	16.5	14.6	15.6	15.3	14.4
	全国	10.2	10.1	9.6	9.2	9.0
大腸がん検診	秋田県	27.0	23.2	24.9	26.6	25.7
	全国	16.1	16.5	16.8	18.0	18.7
肺がん検診	秋田県	23.6	21.5	23.3	20.5	22.5
	全国	17.8	17.9	17.2	17.0	17.3
子宮がん検診	秋田県	26.5	22.3	24.9	22.6	22.1
	全国	19.4	21.0	23.9	23.9	23.5
乳がん検診	秋田県	22.7	20.4	25.7	23.1	22.5
	全国	14.7	16.3	19.0	18.3	17.4

※受診率の算出方法については、平成23年度から全県市町村で統一した。

(出典:地域保健・健康増進事業報告)

## 市町村が実施するがん検診受診者数

(単位:人)

区 分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
胃がん検診	秋田県	60,010	58,160	57,231	60,114	56,979
	全国	3,916,203	3,946,780	3,775,023	3,809,890	3,788,969
大腸がん検診	秋田県	101,152	94,466	94,940	104,091	101,590
	全国	6,418,334	6,693,859	6,761,698	7,649,103	7,988,767
肺がん検診	秋田県	80,756	80,892	81,277	80,247	88,762
	全国	6,685,467	6,911,047	6,799,924	7,087,151	7,291,794
子宮がん検診	秋田県	31,083	35,483	34,505	34,585	34,481
	全国	3,499,278	4,412,368	4,518,403	4,516,207	4,495,670
乳がん検診	秋田県	21,096	30,601	30,152	30,494	29,007
	全国	1,792,176	2,574,508	2,492,868	2,523,008	2,377,791

(出典:地域保健・健康増進事業報告)

### 市町村別・部位別のがん検診受診率（平成24年度）

（単位：％）

	市町村	胃がん	大腸がん	肺がん	子宮がん	乳がん
1	秋田市	5.1	16.7	10.7	17.2	12.8
2	能代市	18.0	20.9	25.1	26.9	33.7
3	横手市	25.8	42.9	43.2	37.3	37.7
4	大館市	7.8	16.5	14.7	23.2	16.9
5	男鹿市	11.9	16.9	17.0	13.5	13.7
6	湯沢市	17.1	30.1	13.2	25.6	26.7
7	鹿角市	13.5	16.4	29.6	21.2	23.7
8	由利本荘市	15.9	23.2	25.2	18.5	20.0
9	潟上市	11.9	19.5	12.1	31.1	27.3
10	大仙市	15.0	34.0	36.9	19.9	25.2
11	北秋田市	14.8	25.1	24.3	15.5	16.8
12	にかほ市	16.6	27.9	24.8	20.9	23.0
13	仙北市	15.1	38.3	12.2	18.1	18.3
14	小坂町	22.3	27.6	37.5	20.5	21.8
15	上小阿仁村	22.6	45.3	46.1	25.8	28.8
16	藤里町	37.6	45.1	48.3	29.7	38.4
17	三種町	24.0	29.3	27.8	29.6	25.6
18	八峰町	34.9	41.7	41.5	44.1	51.5
19	五城目町	23.5	31.3	35.7	27.9	31.6
20	八郎潟町	29.7	35.4	37.8	31.5	34.9
21	井川町	18.7	47.3	60.7	27.5	29.0
22	大潟村	40.9	49.6	43.8	39.5	38.9
23	美郷町	33.4	48.3	20.5	34.4	40.3
24	羽後町	14.9	26.3	8.2	17.9	20.0
25	東成瀬村	40.5	63.5	42.9	39.0	42.0
	県計	14.4	25.7	22.5	22.1	22.5

（出典：平成24年度地域保健・健康増進事業報告）

市町村別・部位別のがん検診受診者数（平成24年度）

（単位：人）

	市町村	胃がん	大腸がん	肺がん	子宮がん	乳がん
1	秋田市	5,042	16,535	10,592	7,207	4,418
2	能代市	4,204	4,887	5,863	2,255	2,592
3	横手市	9,861	16,385	16,485	4,545	4,311
4	大館市	2,350	4,963	4,427	2,912	1,599
5	男鹿市	1,635	2,315	2,326	735	626
6	湯沢市	3,380	5,957	2,619	1,692	1,632
7	鹿角市	1,812	2,197	3,968	1,255	980
8	由利本荘市	4,784	6,978	7,600	1,894	1,793
9	潟上市	1,441	2,369	1,466	1,829	1,439
10	大仙市	5,057	11,488	12,494	2,379	2,480
11	北秋田市	2,268	3,835	3,705	756	736
12	にかほ市	1,632	2,749	2,443	648	697
13	仙北市	1,772	4,492	1,428	907	792
14	小坂町	561	694	945	169	162
15	上小阿仁村	320	642	653	109	123
16	藤里町	648	778	833	221	168
17	三種町	1,966	2,392	2,274	1,120	713
18	八峰町	1,245	1,490	1,482	848	877
19	五城目町	1,032	1,375	1,570	502	495
20	八郎潟町	730	871	931	372	367
21	井川町	385	972	1,248	203	199
22	大潟村	663	805	711	312	162
23	美郷町	2,754	3,973	1,687	1,052	1,084
24	羽後町	1,007	1,774	556	398	410
25	東成瀬村	430	674	456	161	152
	県計	56,979	101,590	88,762	34,481	29,007

（出典：平成24年度地域保健・健康増進事業報告）

平成24年 部位別の粗罹患数と罹患率（秋田県）

区 分	粗罹患数（人）			粗罹患率（人口10万対）		
	男	女	計	男	女	計
大腸	1,179	788	1,967	237	140	186
胃	1,202	572	1,774	241	101	167
肺	609	238	847	122	42	80
前立腺	644	—	644	129	—	61
乳房	3	625	628	1	111	59
子宮	—	386	386	—	68	36
食道	277	45	322	56	8	30
皮膚	158	148	306	32	26	29
膀胱	219	86	305	44	15	29
膵	155	138	293	31	24	28
胆のう	164	124	288	33	22	27
腎	165	87	252	33	15	24
肝	147	74	221	30	13	21
悪性リンパ腫	105	99	204	21	18	19
血液	105	75	180	21	13	17
口腔	113	53	166	23	9	16
甲状腺	34	96	130	7	17	12
神経	58	68	126	12	12	12
卵巣	—	87	87	—	15	8
鼻腔喉頭	58	11	69	12	2	7
その他	50	38	88	10	7	8
不明	34	35	69	7	6	7
計	5,479	3,873	9,352	1,100	686	882

（出典：平成24年秋田県地域がん登録の集計報告）

平成24年 年齢階層別の粗罹患数（秋田県）

年 齢	男		女		計	
	罹患数	罹患率	罹患数	罹患率	罹患数	罹患率
0歳～	4	11	4	11	8	11
10歳～	5	11	3	7	8	9
20歳～	11	28	55	145	66	85
30歳～	53	89	146	254	199	170
40歳～	135	222	296	472	431	348
50歳～	516	685	453	576	969	629
60歳～	1,537	1,899	753	858	2,290	1,357
70歳～	1,935	3,206	1,001	1,213	2,936	2,055
80歳～	1,283	3,451	1,162	1,534	2,445	2,165
計	5,479	1,100	3,873	686	9,352	882

（出典：平成24年秋田県地域がん登録の集計報告）

